

南房総市基本情報

(2024年4月1日現在)

人口 **34,519**人
 世帯 **16,911**世帯
 市内学校数 **27**園・校
 市内医療機関数 **32**院

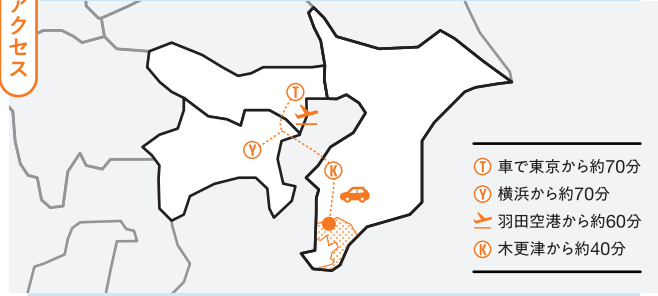
気候

沖合を流れる暖流の影響により、冬は暖かく夏は涼しい海洋性の温暖な気候で、一部無霜地域を有しています。3方を東京湾(内房)と太平洋(外房)に囲まれ、四季折々に咲き乱れる花々や常緑の里山などの豊かな自然と、遺跡や社寺などの歴史的資源を有しています。

成り立ち

平成18年3月20日に、安房郡富浦町、富山町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町の6町1村が合併して誕生しました。千葉県南端に位置し、北部は鋸南町、西部は館山市、東部は鴨川市に隣接しています。

アクセス



- ① 車で東京から約70分
- ② 横浜から約70分
- ③ 羽田空港から約60分
- ④ 木更津から約40分

イチオシの取組

起業支援

起業や新たな分野への取組、地域雇用を創出する事業者に対して補助金を交付しています。

新規就農支援

本格的に農業を始めたい方への総合サポート窓口や各種支援制度があります。

子育て支援・教育

南房総市の自然や産業、伝統文化などを学ぶ「南房総学」、地元食材を活用した地産地消の完全米飯給食や、塾利用に対する助成を行っています。

住宅支援

若者や子育て世帯の住宅取得や賃貸住宅の家賃に補助金を交付しています。

各種取組の詳細は南房総市移住・定住情報サイトをチェック!

最新情報が集まる

南房総市移住・定住情報サイト



先輩移住者の移住の決め手



その他最新情報ははこちらから

南房総市移住・定住情報サイト



【お問い合わせ】南房総市総務部企画財政課地域振興係
 Tel:0470-33-1001/Fax:0470-20-4598/E-mail:chikishinko@city.minamiboso.lg.jp

ワタシの移住の決め手

住んでよかった!

移住者インタビュー

吉川祐二さん(移住歴13年)

移住エリア
 神奈川県鎌倉市→千倉エリア



INTERVIEW 01

移住の決め手「波!」

波の良さ&利便性が手に入る地

プロサーファーとして活躍中の吉川祐二さん。国内でサーフィンの練習にぴったりだと南房総の千倉エリアに別荘を構え、最終的には完全移住を果たしました。「南房総はコンスタントに波があって、波質もいい。サーフポイントがたくさんあって、混雑しにくいのもよかったですね。プロになってから千倉エリアに別荘を借りましたが、都心にも成田・羽田の両空港にも近く、利便性もいい。海外移住も考えていましたが、サーフィンをして長く暮らすなら千倉がいいなと、今から13年前に

住民票を移しました。妻もサーフィンをするので、移住には好意的でしたね」現在の自宅は3年前に新築したもので、広さを活かして売電収入が見込める太陽光発電システムを入れた平家です。芝生が敷かれた大きな庭では、子ども達が遊ぶトランポリンやスケートボード用のスペースも。今は息子さんもサーフィンにハマっているそうで、平日は学校が終わるとすぐ海へ。海の近くの広い場所でゆったりと過ごし、子ども達も庭でたくさん遊ぶという暮らしが続いています。吉川さんは若いころのアルバイト経験を

家族構成(移住当時)
 吉川祐二さん(32)／佳奈子さん(26)
 大翔(たいか)さん(2010年生まれ)
 香里家(かりん)さん(2013年生まれ)
 愛菜(あいな)さん(2015年生まれ)



活かして、造園や家周りの工事などを請け負う会社・株式会社coceworks(コケワークス)を移住の前に立ち上げました。さらに千倉町内にコーヒージュップ「ichinoyato coffee/イチノヤトコーヒー」をオープンし、サーフィンと会社経営、そしてショップ経営という三足のわらじを履いています。「南房総のサーフエリアは海外にも負けないほど環境の整った場所。ただ、都心ほど仕事が充実していない面もあるので、サーフィンで移住を検討している人はまず南房総エリアに小さな拠点を建て、二拠点生活からスタートするのがおすすめです」と吉川さんからのアドバイス。サーフィンに加えて別の仕事も両立させるのは大変でしたが、頑張っておいてよかった、と感じているそう。今では千倉での暮らしにすっかりなじんでいます。

INTERVIEW 02

移住の決め手「仕事!」

白井健さん(移住歴14年)

移住エリア
 千葉県酒々井町→和田エリア



家族構成(移住当時)
 白井健さん(23)／美季子さん(2014年結婚・移住)
 響さん(2015年生まれ)／悠さん(2018年生まれ)

自然の豊かさを伝えていきたい

和田エリアにお住まいの白井健さんと美季子さん。健さんはUターン、美季子さんは結婚を機に南房総に移住しました。

健さんは教員になるためにスポーツ系の大学に進学したのですが、途中で方向転換。幼い頃に感じていた自然の中での楽しさを他の人にも伝えたいと考え、自然体験指導者を目指したのです。「南房総では、近所で釣りをしたり山を駆け回ったりして遊んでいました。これが僕の原点なんですよ。だから大学卒業後の半年は静岡で自然に関する知識を学び、2009年の春から南房総市大房岬自然の家(指定管理者:NPO法人千葉自然学校)の職員に。それを機に実家に戻りました」地元の子ども達にこそこの地域の自然の素晴らしさを感じてもらいたいと思い、2021年度から、南房総市立富山学園の中学生を対象にした「南房総学」プログラ



ムを実施しています。「南房総学は南房総市独自のカリキュラムで、市内の各小中学校で実施されています。子ども達に関わる機会が増えて嬉しいですね」美季子さんは「自然の中で子育てができるのが魅力的。現在は、自然体験ガイドの仕事を手伝って、東京という大きなマーケットが近くにあるのもメリットだと感じています」と、充実した暮らしについて語っていました。

INTERVIEW 03

移住の決め手「土!」

五十嵐早矢加さん(移住歴5年)

移住エリア
 北海道浦河町→白浜エリア



家族構成(移住当時)
 五十嵐大介さん(31)／早矢加さん(32)／葵介さん(2017年生まれ)／花美さん(2020年生まれ)

自分に合う理想の農業を求めて

南房総市はカレンデュラの生産量が日本一。そのカレンデュラを栽培しているのが、ご夫婦で農業を営んでいる五十嵐早

矢加(さやか)さんです。青年海外協力隊で訪れたキルギス共和国の、自然と共存共栄する生活スタイルに魅力を感じ、農業に興味を持ちました。結婚後は北海道に移住したものの、そこで行われていた大規模農業と自分たちのイメージとのギャップに悩んでしまったそうです。そこで思い出したのが、キルギスのカレンデュラ畑。カレンデュラを栽培して魅力を広め



たいと南房総市に問い合わせをしました。「市の担当の方がすぐ親身になって相談のってくれて、就農については研修制度があることなどを教えてもらって、すぐに農家さんを紹介していただきました。そこから不動産屋さんへもつないでいただき、家と畑をスムーズに手配できました。市のバックアップはとても助かりましたね」白浜エリアで自分の畑を持ち、2018年に「ベレケの村」と名付けて農家として独立。自然により近い形の循環型農業で観賞用カレンデュラをメインに栽培し、またOEMでカレンデュラを使ったスキンケアグッズなどを作って販売しています。現在はSNSでの発信がメインですが、いずれはワークショップや花摘みなどを計画。自然と共生しながらの暮らしを満喫しています。

移住へのステップ

STEP 1 考える(計画)

南房総市への移住の目的は何か(子育て、転職、環境変化など)を考えたうえで、誰と移住するのか、時期はいつなのか、といった計画を具体的に立てましょう。

STEP 2 集める(情報収集)

南房総市の生活環境や支援制度などは、市の移住・定住情報サイトなどで確認できます。市の移住相談窓口もご利用ください。

STEP 3 見る・感じる(下見)

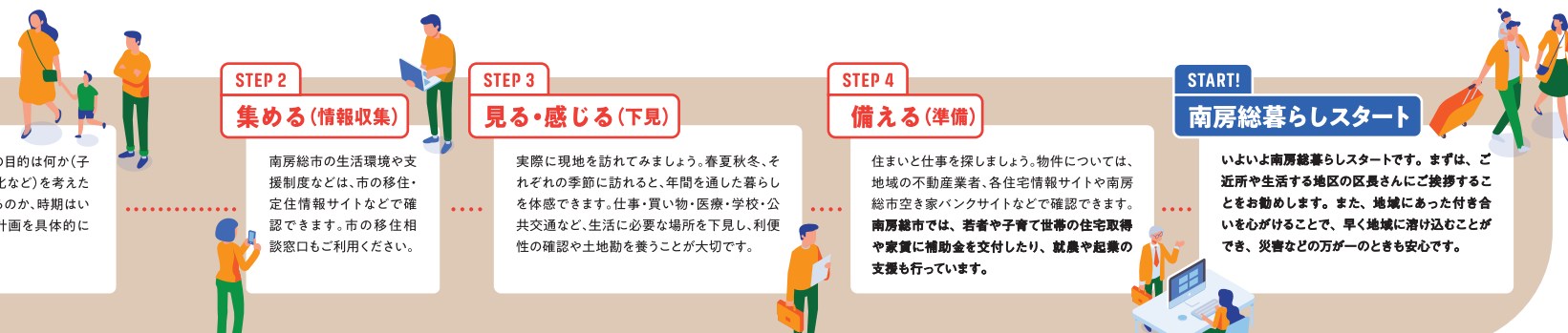
実際に現地を訪れてみましょう。春夏秋冬、それぞれの季節に訪れると、年間を通した暮らしを体感できます。仕事・買い物・医療・学校・公共交通など、生活に必要な場所を見直し、利便性の確認や土地勘を養うことが大切です。

STEP 4 備える(準備)

住まいと仕事を探しましょう。物件については、地域の不動産業者、各住宅情報サイトや南房総市空き家バンクサイトなどで確認できます。南房総市では、若者や子育て世帯の住宅取得や家賃に補助金を交付したり、就業や起業の支援も行っています。

START! 南房総暮らしスタート

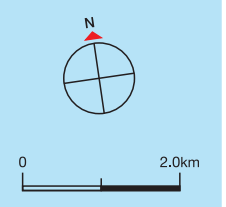
いよいよ南房総暮らしスタートです。まずは、ご近所や生活する地区の区長さんにご挨拶することをお勧めします。また、地域にあった付き合いを心がけることで、早く地域に溶け込むことができ、災害などの万が一のときも安心です。



南房総市マップ



	JR線・駅		市役所関係施設		道の駅・みなとオアシス		サーフポイント		公園等		神社・寺		灯台
	富津館山道路		幼保施設・学校		高速バス停留所		海水浴場		低名山他		スーパー・商業施設		温泉スタンド
	一般道路		病院		観光案内所		ゴルフ場		滝		交流施設等		花畑



富浦(とみうら)エリア



日本有数のびわの産地です。「大房(たいぶさ)岬自然公園」はキャンプ、森林セラピー、磯遊びなどの自然体験が楽しめます。原岡海岸の岡本棧橋はノスタルジックな風景が若者にも人気の映えスポットです。

富山(とみやま)エリア



海水浴や学生宿舎で人気の岩井海岸があり、富山、伊予ヶ岳、御殿山は房総の代表的な3つの低名山としてハイカーに人気のスポットです。

三芳(みよし)エリア



自然豊かな農村地区で「安全で美味しい」有機農業の先進地区です。休日には特に新鮮な農産物や加工食品が並ぶ直売所が人気のスポットです。

白浜(しらはま)エリア



房総半島の最南端の地区で野島崎灯台は日本で2番目に古い洋式灯台です。素潜りの海女によるサザエ・アワビ漁や早春の路地畑に咲くキンセンカ(カレンデュラ)の栽培が盛んです。

千倉(ちくら)エリア



海を見ながらの早春の花摘み観光や漁業が盛んな地区です。日本で唯一の料理の神様を祀る高家神社や南国情緒溢れるサーフィンのメッカ千倉海岸は人気スポットです。

丸山(まるやま)エリア



南北に広いバリエーション豊富な地形のエリアで、南部は太平洋に面し、北部には日本酪農の発祥の地として有名な「千葉県酪農のさと」があります。平野部では水稲や花卉等の農業も盛んです。

和田(わだ)エリア



日本で4つしかない捕鯨基地のひとつ和田漁港があり、南房総の花づくり発祥の地として花卉栽培も盛んです。和田浦海岸や白渚海岸はサーフィンの人気スポットです。